

だがしや楽校@第109回山王ナイトバザール：山形県鶴岡市発

日時：2012年5月19日（土曜日）18:30～21:00

場所：山形県鶴岡市山王商店街

2012年5月19日（土曜日）曇り時々晴れ

【だがしや楽校@第109回山王ナイトバザール】

山形県鶴岡市周辺も、この冬は長く厳しいものになりました。いつまでも寒さが続いたため、桜（ソメイヨシノ）の開花は、例年より1週間以上遅くなりました。また、稲作地帯である庄内地方では、田植えの遅れが心配されました。田植えの遅れは、米の品質低下につながるからです。

その後、ようやく暖かい日が続くようになり、苗は順調に生育し、庄内地方の田植えは、一部の地域を除き、ほぼ平年通りに行われているそうです。

まだまだ寒暖の差は大きいのですが、こうして鶴岡市周辺にも春が訪れました。

春が訪れと共に、今年も“山王ナイトバザール”の季節がやってきました。というわけで、今年最初の“だがしや楽校@山王ナイトバザール”は、5月19日に開かれました。

これまで何度もご紹介している“だがしや楽校@山王ナイトバザール”ですが、今回も簡単に“山王ナイトバザール”について説明しておきます。

山形県鶴岡市の中心商店街のひとつ・山王商店街が、毎年5月～10月の第3土曜日の夜に開いているのが“山王ナイトバザール”です。“山王ナイトバザール”は、中心商店街ににぎわいを取り戻すための取り組みですが、昔ながらの商店街の雰囲気醸し出したいということで、“夜”にこだわり、ナイトバザールにしたのです。

“山王ナイトバザール”がスタートしたのは、1994年（平成6年）。今回は回を重ねて第109回目です。これだけ長く続いていますので、市民にも浸透し、毎回大勢の人出でにぎわいます。

山王商店街は、中小企業庁の“新・がんばる商店街77選”にも選ばれています。

“山王ナイトバザール”では、子ども向けのゲームコーナーを設けていましたが、マンネリ化となり、子どもたちからも不評を買っていました。そんな時、山王商店街の阿部久書店は商売柄いち早く“駄菓子屋楽校”（2002年・新評論）が発行されたことを知り、執筆者が山形在住である松田道雄さんだったこともあり、松田さんへ問い合わせたことをきっかけに、“だがしや楽校@山王ナイトバザール”を始めました。

“だがしや楽校@山王ナイトバザール”は、子どもたちにも好評となり、“だがしや楽校”が鶴岡・庄内地域へ浸透していくひとつの基盤となりました。

子どもたちに好評である理由は、これまでにない様々な遊びや体験ができることでもあります。学生さんをはじめ、世代を越えたいろいろな人、それも鶴岡だけでなく、山形市など地域を越えていろいろな人と触れ合うことができるからです。

それでは、今年（2012年）最初の“山王ナイトバザール”をご紹介します。

この日は、やや雲が多かったものの、雨の心配はなしです。暑くもなく寒くもなく、ちょうど良い陽気の下での“山王ナイトバザール”になりました。

そう言えば、山王通り街路改良工事・完了後、初めての“山王ナイトバザール”でもあります。工事は2009年7月に始まり、2010年秋には終わる予定でした。しかし、工期は大幅に延長され実際に終わったのは昨年（2011年）11月でした。

工事期間中も“山王ナイトバザール”は休むことなく開催しました。工期が大幅に延長されても、めげずに開催し続けました。「安全を考慮すれば中止すべきではないか」という意見もありましたが、「継続こそが最大の力」であることを考えますと、中止というのは安易な考えです。安全に配慮しなければなりません、継続することが重要です。

東日本大震災後の昨年（2011年）5月も予定通り開催しました。

その山王通り街路改良工事が完了し、今回は気分を一新しての“山王ナイトバザール”です。

そんなこともあり、また、半年ぶりの開催ということもあって、開始前から大勢の市民が集い大にぎわいです。

“山王ナイトバザール”の特徴は、これだけの人出にもかかわらず、歩行者天国にしていけないことです。ですから、ナイトバザール開催中も、道路では車が走行します。しかし、この人出で車が遠慮がりに走行します。でも、これが本当の車の運転です。道路は車優先ではありません。





冬期間、毎週土曜日の午後、“だがしや楽校”が開かれていた“さんのう夢ほっと”前の歩道には、土曜の夜恒例の“居酒屋屋台”が出現しました。



2つの駐車場に設けられた飲食ブースの屋台テント村も、写真の通り、大にぎわいです。



旧菅原イチローヂ商店に人盛りができています。中からは、心地良いジャズ演奏による音楽が聞こえています。



チャレンジゲーム（ビンゴ、輪投げ、ダーツ）



赤川花火大会PRブース

山王商店街の北端、木立が生い茂る山王神社の境内では“山王の杜コンサート”が開かれました。今回は、鶴岡第二中学校の吹奏楽部による華麗な演奏が繰り広げられました。

アンコールでは“故郷”が演奏され、集まった市民の人たちは感慨深く聴いていました。



山形県庄内地方と新潟県村上岩船地域では、数年前から広域連携に取り組んでいます。具体的には、互いに見学・研修を行ったり、合同で合宿ワークショップを行ったりしてきました。私（山口）も何度か参加したことがあります。

それでこの日は、村上岩船地域から関係者が“山王ナイトバザール”の視察を兼ねて、駆け付けました。



村上岩船地域の特産品・名産品を販売するお店が出されました。



阿部久書店前では、似顔絵のおみせです。似顔絵を描いているのは、村上市で酒屋さんを経営する笑顔福増さんことKおっちゃん！ 笑顔福増さんは、村上市観光協会認定・ボランティア観光案内人第1号です。笑顔福増さん、通り掛かりの人に声をかけては、30秒ほどで似顔絵を描き上げる名人芸を持っています。私（山口）の似顔絵もアツと言う間にできました。

隣りでは、笑顔さんと同行していた人が、村上から持ってきたおもしろグッズを販売しています。



それでは“だがしや楽校@山王ナイトバザール”の模様をご紹介します。おみせは4つです。

▼ふわペタカレンダー



Yoshi さんたち“だがしや楽校だがしや倶楽部”によるおみせは“ふわペタカレンダー”。パステル画を応用した遊びで、単にパステル画を描くのではなく、カレンダーを作ろうというおみせです。



描いたり、ペタペタ貼ったりして、カレンダーを作ります。

▼消しゴムハンコ



Yuki さんたち（東北芸術工科大学・院生・学生さん）による“消しゴムハンコ”のおみせです。



子どもたちは、スタンプ押しが好きです。しかも、いろいろな絵が彫り込んである“消しゴムハンコ”は、おもしろすぎます。

▼人エイクラ



鶴岡工業高等専門学校の佐藤司准教授と学生さんによる“人エイクラを作ろう”のおみせは、庄内地方での“だがしや楽校”ではお馴染みになりました。



薬品を使って、イクラのような粒々を作ります。薬品と言っても、食品添加物ですので、食べることはできますが、子どもたちは、自分の手でイクラを作る不思議さを感じながら、作っていました。

▼紙芝居

こちらも庄内地方の“だがしや楽校”ではすっかりお馴染みになりました創作紙芝居劇団『だだちゃまめ』



の中村恵二さんによる“紙芝居”のおみせです。
なぜなぞあり、クイズあり、
たくさんの桃太郎の話がありと、この日の楽しい紙芝居が炸裂しました。



創作“桃太郎”
では、子どもたち
にもお話を作っ
てもらいました。

この日は特に元
気なお子さんが多
く、手を挙げたり、
反応したりと、大忙し？でした。



大にぎわいだった今年（2012年）初めての“山王ナイトバザール”でした。

その中“だがしや楽校”も大勢の子どもたちが遊んでいきましたが、ここだけは、ゆっくり・じっくり遊んでいくお子さんが多く、ゆったり感・まったり感が漂い、“だがしや楽校”ならではの雰囲気にも包まれました。

企画・制作・編集・文責
山口充夫

だがしや楽校コーディネーター
おきたまラジオNPOセンター